【実施区域・面積】

福岡県福岡市、0.16ha

【生態系タイプ】

創出緑地

【実施区域の状況】

本区域は、池や起伏のある地形、土漆喰の人工構造物で構成された1200㎡のビオトープであり、壱岐南小学校と九州工業大学が2002年に計画・施工し、現在まで管理・活用している。

【目標】

都市の緑をつなぐ拠点として在来種の生態系を保全し、子どもの自然遊びと環境学習の機会を創出・維持する。

【主な活動内容】

モニタリング結果に基づいた草刈り・外来種の抜根・ビオトープの堀干し

【モニタリング計画】

草本植生及び陸生昆虫、水生生物を対象としたモニタリング活動を毎年7月に実施する。

【実施体制】

福岡市：施設管理、除草作業、各主体間の調整

壱岐南小学校：日常的な点検、環境学習の実施

九州工業大学：モニタリングの実施、環境学習の支援



写真番号：1
写真の撮影年月：2024年11月
写真の説明：サイト全体写真



写真番号：2
写真の撮影年月：2023年9月
写真の説明：授業での活用の様子

【計画期間】

令和８年３月～令和13年３月